

## 今後の対応

項目	連盟の活動	チームの活動	該当者
学年閉鎖	該当学年の選手を除いて試合を行う 但し、メンバー不足の場合は行わない	該当学年の選手を除き活動しても良い	自宅待機
学級閉鎖	該当者を除いて試合を行う 但し、メンバー不足の場合は行わない	該当者を除き活動しても良い	自宅待機
感染者(選手本人)が出たら	該当者を除いて試合を行う 但し、メンバー不足の場合は行わない	該当者を除き活動しても良い	自宅待機・治療に専念
感染が疑わしい (選手の近親者が感染)	試合を行う	活動しても良い	学校の対応に従う

## 連盟の基本処置

- 1 連盟主催の試合は上記の内容に沿って運営する
- 2 教育長杯A級は11月3日に開会式を行う。1、2回戦は実施可能な試合を全て実施する。  
1、2回戦が全て実施できた場合は、11月8日は予定通り実施する。  
1、2回戦が全て実施できない場合は、11月8日の日程を延期する。  
未実施の試合は、当該チーム間で日程・場所を調整して実施し、結果を連盟に報告する。(役員は立会する)  
ベスト4が揃った段階で日程を設定し、準決勝・決勝を実施する。  
スポ少への登録までに2チームが選出できない場合は、4チームによる抽選とする。  
教育長杯B、C級は実施可能な試合から順次実施する。
- 3 A級リーグ戦、B、C級後期リーグ戦は教育長杯を優先するため年度内終了を目指す。
- 4 市外大会への派遣チームは上記内容で対応が出来ない場合は連盟に処置を確認する

## 処置の解釈

- 1 学年閉鎖の場合  
単独学年でチームを編成している場合は活動は出来ない。複数学年で編成している場合は、該当学年以外で活動できる
- 2 複数の学校の場合  
該当する学校の学年・学級の選手を除き試合、活動を行う